

検討の進め方について (案)

検討事項

- 音以外の警報伝達手段に関する情報収集・整理
- 防火対象物向けに想定されるシステムに関する基本コンセプトの整理
- 聴覚障がい者の意見を踏まえたシステム開発、導入・普及に係る検討
- 効果的な使用方法の検討（設置方法、人的対応等）

<警報の種類>

- 光
- 振動
- 臭気

<システム構成>

- 自動火災報知設備に常時接続の固定タイプ
- 来館者に貸出しを行うポータブルキット（有線、無線）
- 携帯メールへの火災情報の配信等

検討対象として想定される普及促進対策の例

- 設置者・利用者の双方のニーズに合致した技術的メニューの提示
- 防火管理者等の応急活動要領の提示
- 自動火災報知設備と聴覚障がい者用の警報機器等との接続に係る統一化
（接続端子、信号形式等）
- 光警報等を用いる場合の消防法令上の基準の整備
- 表彰等による製造事業者の開発促進、建物関係者の設置促進等 など

(スケジュール)

年度内に4回程度開催し、本年度中に報告書をとります。

